英借文

☆ねらい

モデルとなる英文を提示することで、自然に英作文のヒントを得ることができる。また

与えられたテーマに対して、まとまった長さの英作文を書くことができるようになる。

☆扱う場面

　・全学年、単元終了のまとめ時、自己表現活動、３年生の受験指導対策など、生徒の習熟に応じて、生徒自身が、「コピー英文」と「英借文」の２通りから選択できるので、苦手意識のある生徒も段階的に取り組むことができる。

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| 1. 英文を一斉音読する。 | ・生徒自身が内容を把握することを意識させながら音読するよう  指示する。 |
| 1. コピー英文または、英借文かのどちらかを選択する。 | ・コピー英文と英借文の違いを伝える。  ・自分のレベルに合わせて選択させる。  ◇コピー英文→そのまま転写させる。  ◇英借文→教師が主語にさせる人を提示する。  ワークシート例）ユリさん |
| 1. 選択した方法に沿って取り組む。 | ・英借文をすることで３単現のルールを身につけさせる。  ◇ワークシート記入例の中での波線部は、指示があった点、  代名詞変化や決まり表現。  ◇二重線部は変化させなければならないところ。 |
| ④ 英作文に取り組む。 | ・「自己紹介と好きなこと」をテーマに書かせる。  ◇ワークシート記入例で、波線部は置換した単語。  ◇太線部は新たに付け加えた英文。  ◇モデル文や英借文がヒントとなり、まとまった長さの英文が書きやすくなる。 |